

令和2年度 多摩区地域課題対応事業 実施結果

I 賑わいと魅力あるまちづくり事業費 予算額 22,531,000円 決算額 17,973,630円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
1-1 観光振興・タウンプロモーション推進事業 【地域振興課】	<p>自然や文化施設といった多摩区の豊富な地域資源を活用し、区民や多摩区観光協会をはじめとする多様な主体との協働により、区の魅力をその内外に積極的に発信し、交流人口の増加を図りながら地域の活性化につながる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民、近郊都市住民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区観光協会 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○地域資源の新たな魅力を発信する区内周遊イベントの開催 ○各種SNS等を活用したピクニックタウン多摩区のプロモーション ○各種メディアを通じた多摩区の魅力発信 ○各種観光ポスターの作成 ○地域情報誌による区内の魅力・情報発信 ○多摩区観光情報ホームページによる情報発信 ○観光ガイドブック「はなもす」の作成 ○登戸ペDESTリアンデッキバナー作成(かわさき宙と緑の科学館開館50周年記念)・掲出 ○地域イベント出展(生田緑地食の祭典) ○生田緑地⇄多摩川ピクニックラリーの実施(多摩区観光協会自主事業) ○多摩区ガイドマップの作成</p> <p>コロナ禍でも非接触型で楽しめる区内周遊事業を立ち上げ、2,000組程度の参加があった。SNSの計画的発信やインフルエンサーの活用を行い、区の魅力発信を行った。区の魅力情報を積極的にメディアアプローチした結果、3.8億円の広告換算があった。 多摩区観光協会との協働により観光ガイドブックの発行、ホームページ「多摩区見どころガイド」の更新等による広報・宣伝活動や、地域イベント・行事への出展、広報支援といった取組を実施し、区の内外に多摩区の魅力を発信した。 多摩区観光協会自主事業である「生田緑地⇄多摩川ピクニックラリー」が新規に立ち上がるなど地域活性化、区の観光資源のPRを推進することができた。 市外からの転入者向け及び来訪者向けとして、区の全体の地図と観光スポット等の見所を紹介するガイドマップを作成した。</p>	<p>予算額：13,763,000円 決算額：12,253,357円</p>
1-2 音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業 【地域振興課】	<p>市の重要施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進することで、区民が音楽芸術に身近に触れる機会を提供するとともに、多摩区の地域資源を活用して地域への関心や愛着の醸成を図ることができる。また音楽を通じて、区民や音楽家同士の連携による地域交流の促進や、地域の活性化を推進する。</p> <p>(1) 第10回記念「たま音楽祭」の開催 (2) 「たまアトリウムコンサート」の開催</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成16年度</p>	<p>○第10回記念たま音楽祭の無観客生配信での開催。(2/6(土)、7日(日)視聴回数5,931回) ○たまアトリウムコンサートの開催。(8/19、10/21、12/16、3/17の年4回。来場者430人)</p> <p>音楽を通じ、区民に音楽芸術に身近に触れる機会を提供し、区の魅力をアピールすることができた。 第10回記念のたま音楽祭は、区ゆかりのミュージシャンをゲストに招きオンライン生配信で開催し、日本各地、海外からも視聴があった。実行委員会形式による区民発意の企画運営を行い、オンラインでも双方向で楽しめる音楽祭となった。 たまアトリウムコンサートは、コロナ禍でも楽しんでいただけるよう実施手法を工夫し、年4回の内3回を有観客で、内1回(3/17)を無観客で後日配信を行った。</p>	<p>予算額：3,790,000円 決算額：3,783,947円</p>
1-3 多摩区スポーツフェスタ事業 【地域振興課】	<p>地域のスポーツ推進を目的として、誰もが参加でき、気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ行事「多摩区スポーツフェスタ」を開催する。</p> <p>川崎市多摩スポーツセンター等を会場として、スポーツに親しむ機会の提供と優れたスポーツ選手との交流を通じて、地域のスポーツ活動の促進を図るとともに、スポーツセンターをはじめスポーツ推進委員会や総合型スポーツクラブなどの各種団体との連携や区民同士の交流を図り、スポーツを通じたまちづくりを進めることを目的とする。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区スポーツフェスタ実行委員会 ■開始時期：平成25年度</p>	<p>○多摩区スポーツフェスタ実行委員会の開催。(4回)</p> <p>川崎市多摩スポーツセンターと周辺中学校の施設を活用し、スポーツ推進委員会や総合型地域スポーツクラブなどの地域スポーツ関係団体等と連携して、本市や区にゆかりのあるプロスポーツチームなどによるスポーツ教室やスポーツ体験など合計15種目19体験教室を3/14(日)に実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止を決定した。 イベントの代替手段として、開催種目の一部をYouTubeにて動画配信する「第8回多摩区スポーツフェスタ at home」を実施し、総再生回数は1,075回を記録した。</p>	<p>予算額：1,500,000円 決算額：282,058円</p>

<p>1-4 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業</p> <p style="text-align: right;">【企画課】</p>	<p>登戸土地区画整理事業により大きく変貌する地区の状況を踏まえ、区の中心市街地である登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の賑わいを引継ぎ、更に発展させることで魅力あるまちづくりや暮らしやすさの向上を図る。</p> <p>ARシステムを利用したまちの回遊性向上の取組「たまく de AR！」を実施し、街と多摩区の地域資源である生田緑地の回遊性の向上を図ることで、まちの賑わいや、魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成26年度</p>	<p>○ARシステムを利用したまちの回遊性向上の取組「たまく de AR！」の実施。</p> <p>登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちと多摩区の地域資源であり観光資源である生田緑地や岡本太郎美術館、日本民家園、かわさき宙と緑の科学館及びそのアクセスルートにARスポットを設置し、スマートフォンのカメラで二次元コードを読み込むことで、施設のキャラクターと一緒に写真が撮れる等、利用者が楽しみながら、まちや施設を巡る取組を実施。(ARアクセス数 約6,640回)</p> <p>取組の実施により、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちと生田緑地等の回遊性の向上を図り、まちの賑わい及び魅力あるまちづくりの推進に貢献した。</p>	<p>予算額：744,000円 決算額：743,600円</p>
<p>1-5 多摩区エコロジーライフ事業</p> <p style="text-align: right;">【企画課】</p>	<p>地球規模の課題である地球温暖化の問題を解決するためには、地球全体で考え、地域でできることから対応を進めていくことが必要である。多摩区役所では、区民がエコロジー(自然環境保護、地球温暖化防止)に、家庭(日常生活・ライフ)で身近に取り組める地球温暖化防止策を紹介するなど、市民活動団体等との協働による地球温暖化緩和策を推進する。</p> <p>(1) 緑のカーテン大作戦の実施 (2) リユース食器普及啓発事業の実施 (3) 小学生向けエコ関連の啓発イベントの実施 (4) 地球温暖化対策パネル展の実施 (5) エコの取組の広報</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成21年度</p>	<p>○夏休み！多摩区エコフェスタ(中止) ○地球温暖化防止パネル展(中止) ○緑のカーテン大作戦(中止) ○地域イベントへのリユース食器の貸出し(中止) ○マイボトルカバーとエコバッグの手作り方法をウェブで紹介(令和2年6月～) ○エコチャレンジシートをウェブで配布(令和2年6月～) ○区を中心に活動する団体のエコの取組をウェブで紹介(令和2年7月～)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種取組の縮小・中止を余儀なくされたが、その中でも、エコ活動や啓発に繋がる情報発信をウェブで実施し、区民の環境意識の向上を図ることができた。</p>	<p>予算額：501,000円 決算額：0円</p>
<p>1-6 水辺の愛護活動事業</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	<p>市内はもとより、他都市からも多くの人々が訪れる歴史的な環境資源である二ヶ領用水を育み、憩える緑豊かな水辺の空間づくりに寄与するとともに、区民の環境愛護活動を推進するため、町内会・自治会をはじめ地域関係団体で河川敷のごみ回収など、清掃・愛護活動を協働で実施する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○清掃用具の配布</p> <p>二ヶ領用水沿いの町内会・自治会に対し、日頃の用水沿いの清掃活動に用いる清掃用具を配布し、活動支援を行った。(6団体)</p> <p>二ヶ領用水のより良い水辺の環境を守っていくための愛護活動を推進することができた。</p>	<p>予算額：149,000円 決算額：129,118円</p>
<p>1-7 多摩川環境啓発展示事業</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	<p>「水と緑と学びのまち・多摩区」の象徴ともいえる「多摩川」に生息する淡水魚等を飼育管理し、区民が自然や生物に身近に親しむ機会を提供するとともに、多摩川への愛着を深め、環境意識を啓発する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成2年度</p>	<p>○多摩川に生息する淡水魚等を飼育管理し、多摩川を身近に親しむ機会を提供。 ○単なる水槽ではなく、多摩川のことを知り愛着を深めてもらうツールとして展示。</p> <p>年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供し、庁舎内に憩いの場を創出することで、多摩川への愛着・関心、郷土への思いを深めてもらうとともに、自然環境への意識啓発を図ることができた。</p> <p>また、展示物についても四季に応じたパネルの変更等を行ったほか、チラシの作成やホームページに水槽の装飾情報を掲載するなど、より多くの方に興味をもってもらえるよう取り組んだ。</p>	<p>予算額：661,000円 決算額：781,550円</p>
<p>1-8 多摩まちかど祭開催事業</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	<p>区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人一人が舞台運営の担い手となれるステージショーを区民祭の会場で開催し、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。地域に根ざしたより身近な場所で舞台公演することにより、区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成に役立てる。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区まちかど祭実行委員会 ■開始時期：平成3年度</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止。</p>	<p>予算額：1,200,000円 決算額：0円</p>

<p>1-9 区民祭開催経費</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>区民一人一人が担い手となる祭を通して、心温かい地域コミュニティを作り、暮らしやすい快適なまちづくりを推進することを目的に区民祭を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：事業補助 ■実施主体：多摩区民祭実行委員会 ■開始時期：平成 26 年度（地域課題対応事業費として） 	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止。</p>	<p>予算額： 223,000 円 決算額： 0 円</p>
-----------------------------------	---	-------------------------------------	------------------------------------

Ⅱ 安全・安心まちづくり事業費

予算額 6,804,000円

決算額 5,459,560円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
2-1 市民防災活動支援事業 【危機管理担当】	地域防災活動の中心的役割を担う自主防災組織の育成と、区民等の防災意識の向上を図るため、防災フェア等の啓発活動を開催する。 防災フェアは、消防署や各局等の関係機関、防災について貢献する事業者、地域防災の主体となりうる地域団体と連携して運営する。 防災リーダー養成講座は、運営サポーターとして地域の防災人材を取り込み、次世代の防災リーダーとして活躍が期待される子育て世代向けに啓発することを目的に開催する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所危機管理担当、多摩区自主防災組織連絡協議会 ■開始時期：平成18年度	○新型コロナウイルス感染症の影響により、防災フェアは開催せず、代替として1/13（水）から1/18（月）まで、区総合庁舎1階アトリウムにて、来庁者向けに防災パネル展示を実施。 ○「災害に強い街」実現のため、防災リーダー養成講座として、日帰りで「防災キャンプ」を実施。当初、新型コロナウイルス感染症の影響により、区役所会議室での少人数参加の「会場型」と、ZOOMを使って自宅から参加できる「オンライン型」の同時開催を予定していたが、緊急事態宣言が発令されたため、「オンライン型」のみ開催。参加者 延べ51世帯（延べ114名）、運営サポーター2名。	予算額：1,434,000円 決算額：1,079,170円
2-2 多摩区危機管理事業 【危機管理担当】	災害対応力の向上・定着のため、研修を実施し、継続的に研修を実施する。 災害時に対応の拠点となる区本部や避難所等において、的確で迅速な災害対応を行うために必要な物品等を整備する。災害による区内の被害を軽減するため、多摩区防災連絡会議を通して、関係機関との取組の強化と情報の共有を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所危機管理担当 ■開始時期：平成25年度	○災害時に区本部で使用する物品、装備品を整備。 ○職員を対象とした基礎的な研修を実施。 ・感染症対策に配慮した避難所開設・運営研修 9回（7/21（火）、8/4（火）、10/6（火）、10/13（火）、10/23（金）、11/20（金）、11/25（水）、11/26（木）、12/1（火）） ○避難所運営会議で、避難所運営訓練を実施。会議27回、訓練6回（稲田中・長尾小・枳形中・登戸小・中野島中・中野島小・下布田小・菅小・生田中・生田小・三田小・東生田小・南生田中）	予算額：2,887,000円 決算額：2,504,717円
2-3 多摩区安全・安心まちづくり推進事業 【危機管理担当】	安全で安心なまちづくりを推進するため、地域、警察、消防、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等の活動に取り組む推進体制を整備し、犯罪発生の抑止や交通安全意識の普及、交通マナーの向上を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所危機管理担当、多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■開始時期：平成17年度	○町内会・自治会、老人クラブ、PTA等による地域防犯パトロール、見守り活動を支援するため、パトロール用ベスト、のぼり旗等を貸与。 ○青色回転灯装着車によるパトロールを実施。（多摩区子ども見守りの日のパトロール、防犯パトロール、振り込め詐欺防止パトロール（隔月の年金支給日）、新入学（園）児見守りパトロール（4月6日）、交通安全運動パトロール（春4月6日～15日、夏7月11日～20日、秋9月21日～30日、年末12月11日～20日）） ○交通安全意識の高揚と交通事故防止につなげるため、春、夏、秋、年末の各交通安全運動期間において、警察、行政が連携して交通安全キャンペーンを実施。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、安全・安心フェスタは開催せず、代替として1/13（水）から1/18（月）まで、区総合庁舎1階アトリウムにて、来庁者向けに安全・安心パネル展示を実施。 ○交通安全意識の定着を図るため交通安全教室を実施。（幼稚園、保育園、小学校等で延べ46回、参加者3,652人）	予算額：1,274,000円 決算額：1,189,523円
2-4 自転車利用安全マナーアップ促進事業 【危機管理担当】	中学生を対象にスクエアード・ストレート方式（スタントマンが交通事故を再現し受講者が恐怖を直視する）の交通安全教室を実施し、安全で確実な自転車の乗り方等、ルールとマナーを習得させ交通事故抑止を図る。また、小学生に交通安全標語を募集し、優秀作品を地域に掲出することで地域住民の交通安全意識の向上を図る。 ■事業対象：区内小学校の児童、区内中学校の生徒 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所危機管理担当 ■開始時期：平成25年度	○自転車のマナー違反が引き起こす恐怖（交通事故）を直視するスクエアード・ストレート方式の交通安全教室を実施。（市立稲田中学校（10/14（水）、生徒625人）） ○区内の小学校の児童から自転車利用マナーアップに関する交通安全標語を募集。応募1,326人 区長賞、交通安全関係団体会長賞等の表彰は学校ごとに実施。 ○優秀作品を標語看板（電柱幕）に加工して通学路に設置し、受賞した児童を一日警察署長とするキャンペーンを実施。（9/16（水）、稲田小学校）	予算額：1,063,000円 決算額：585,604円

<p>2-5 多摩区動物愛護推進事業</p> <p>【衛生課】</p>	<p>学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、動物の飼養上発生する様々な問題解決へと繋げることにより、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図る。</p> <p>(1) 「いのちの授業」の実施 (2) 「動物防災啓発パネル展」の開催</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所衛生課 ■開始時期：平成 27 年度</p>	<p>○多摩区内小学校 5 校 (11/10(火)11/13 (金) 菅小学校、11/17 (火) 下布田小学校、11/26 (木) 西菅小学校、12/1 (火) 12/2 (水) 生田小学校、12/9 (水) 12/10 (木) 宿河原小学校にて、心音拡声器を使用し、いのちの大切さを学ぶ「いのちの授業」を実施。(全 14 クラス、計 441 人)</p> <p>○災害時のペットの同行避難啓発のため「動物防災啓発パネル展」を開催。(パネル展:10/7～10/10)</p>	<p>予算額： 146,000 円 決算額： 100,546 円</p>
-------------------------------------	--	--	--

Ⅲ たまっ子を育てるまちづくり事業費

予算額 9,518,000円

決算額 6,286,016円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
3-1 幼児の発達支援事業 【地域支援課】	幼児に精神及び社会性の発達に遅れがある場合、育ちにくさや育てにくさがあり虐待のリスクが高く、虐待予防の観点からも支援が必要である。 また、早い時期から周囲の理解が得られ、療育等の必要な支援や環境の調整が行われることが大切である。そのため、乳幼児健康診査後のフォローとして、グループダイナミクスを活用した事業（「プチたまキッズ」、「たま遊びの会」）を実施する。 ■事業対象：幼児の発達に心配を抱えている親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域支援課 ■開始時期：平成17年度	○乳幼児健康診査後のフォロー教室「プチたまキッズ」（年9回、参加者63組）、「たま遊びの会」（年9回、参加者49組）の開催。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施回数や参加人数を縮小するなど、感染防止対策を工夫し実施した。 心理相談員・言語聴覚士・保育士・体育指導員・保健師が連携して多方面から関わり、集団遊びの体験や親同士の交流、個別相談を実施したことで、育児不安の軽減が図れた。また、親が子どもの発達を理解し、その子に合った対応ができるように支援することができた。 発達の遅れが疑われた場合、心理相談員による個別相談を実施したことにより、保護者が乳幼児の成長をどのように受け止めているかを十分把握し、慎重に療育を促すことができた。 発達の偏りから育てにくさやコミュニケーションの取りにくさがある場合、虐待のリスクが高くなる傾向があるため、本事業を実施し支援することで虐待予防に繋げることができた。	予算額：1,117,000円 決算額：864,008円
3-2 たまたま子育てまつり開催事業 【生涯学習支援課】	安心して子育てができる地域の環境づくりを進めるために、子育て支援団体、関係機関、行政等の協働により「子育てまつり」を開催する。親子で参加し楽しめる企画の実施、子育てサークルの活動紹介や子育てに関する情報の発信、親子で楽しめるホールイベント等により、子育て世代に役立つ知識・技術を普及し、区民が交流できる場、体験・学びの場を総合的に提供する。 ■事業対象：子育て中の親子及び子育てに関心のある市民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所生涯学習支援課、たまたま子育てまつり実行委員会 ■開始時期：平成15年度	○たまたま子育てまつりの開催。（9/20（日）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） 平成28年度から地域みまもり支援センター主催の「健康フェスタ」と同日開催を行っており、子どもから高齢者まで幅広い世代がおまつりに参加し、多くの区民が交流を深めている。ステージイベントや工作、子どもの人権の普及啓発など、親子がともに参加して学び楽しめる有意義な企画のほか、多摩区の子育て情報を掲載したリーフレットの作成・配布、大ホールイベント等を開催している。また、地域の子育て世代に必要な交流や情報及び学びの機会を多様な手法で提供し、多摩区をより知ってもらうきっかけになったとともに、世代間交流の場にもなっていた。 しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者、来場者の健康、安全を第一に考え、開催を中止した。	予算額：469,000円 決算額：20,028円
3-3 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業 【地域ケア推進課】	「多摩区地域子育て情報BOOK」や「多摩区子育て応援メッセージ」冊子等の作成及び配布、地域子育て情報を掲載したホームページの運営、「かわさき子育てアプリ」への情報掲載、掲示板やちらしコーナーでの情報提供などを通じて、親の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へ繋げる機会とし、子育て家庭のニーズに応じた多様な情報提供を行う。 ■事業対象：区内の妊婦～子育て中の家庭 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所地域ケア推進課 ■開始時期：平成17年度	○「多摩区地域子育て情報BOOK」の発行。（5,500部） ○「多摩区こども相談窓口案内」の発行。（8,000部） ○「多摩区子育て応援メッセージ」冊子。（4,000部） ○ホームページの更新等。《多摩区こそだてweb更新年1回（他随時）》 ○「かわさき子育てアプリ」等による情報掲載。（年21件） ○ちらしコーナーでの情報提供や広報支援。（年間随時） 「多摩区地域子育て情報BOOK」については、区役所・行政サービスコーナー、子育て関連施設等で配布した。 地域子育て支援活動・事業の広報及び交流支援については、親の育児不安の軽減へ向け、アドバイスや地域の支援体制・施設を紹介する「多摩区子育て応援メッセージ」冊子を作成し、区内の子育て関連施設で配架閲覧や希望者への配布を行った。	予算額：2,001,000円 決算額：1,547,288円
3-4 多摩区こども総合支援推進事業 【地域ケア推進課】	地域の子育て支援団体や関係機関等と「多摩区こども総合支援連携会議」を開催し、区内の子育てに係る実態調査の分析から課題の共有や取組の方向性について検討等を行い、策定した「多摩区こども・子育て支援基本方針」に基づき、地域と行政が役割分担をしながら課題解決に向けた取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりを推進する。また、子育て支援者を対象とした各種研修や地域全体に向けての子育てへの理解を深めてもらう普及啓発、親を対象とした子どもに関する講座や子育て不安及びストレスの軽減を図る催し等を実施する。 ■事業対象：区内の子育て支援関係機関・団体 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所地域ケア推進課 ■開始時期：平成17年度	○連携会議1回、地域会議（講演会形式）1回実施。 ○子育て支援パスポート事業の実施。（パスポート配布数2,116枚） ○こどもの外遊び交流事業の実施。（交流イベント2回） ○子育て支援者養成講座の実施。（連続講座9回） ○子育て支援者スキルアップ研修の実施。（1回） 地域の子育て支援活動団体や関係機関・行政が、区の子育ての課題を共有し、「多摩区こども支援基本方針」に基づき、地域と行政が役割分担をしながら、地域全体で課題解決に向けた子育て支援に取り組む地域づくりの推進につながった。	予算額：3,624,000円 決算額：2,318,995円

<p>3-5 子ども・子育て支援 推進事業</p> <p>【保育所等・地域連携担当】</p>	<p>公民保育所園長及び保育士と民生委員児童委員、主任児童委員、地域での子育て支援関係機関が協働して、子どもの健やかな成長を図るための支援、保護者が安心して子育てできるための支援、子育てで人が繋がりあう地域づくりを推進する。</p> <p>・多摩区「ママとあそぼうパパもね」事業</p> <p>■事業対象：子育て中の親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保育所等・地域連携 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ママとあそぼうパパもね」事業は中止となったが、その代替として令和2年12月から令和3年2月にかけて、「たまっこセミナー」（少人数を対象として、子育てに関するテーマを保育士、看護師、栄養士による講座）を事前予約制にて開催した。（開催 7回、参加者 122名）</p> <p>○地域での子ども子育てを支援するため、市立保育園や区役所保育所等・地域連携担当が管理している絵本や玩具、遊具の貸出を実施した。（絵本 385件、玩具・遊具 58件）</p> <p>○「ママとあそぼうパパもね情報」、「子育てワンポイント」等の子育て情報提供をホームページで月1回発信した。</p> <p>○「ママとあそぼうパパもね」の連絡会（年2回）を開催。</p>	<p>予算額： 496,000円 決算額： 286,795円</p>
<p>3-6 地域子育て力向上事業</p> <p>【地域支援課】</p>	<p>核家族化・少子化、近隣関係の希薄さ等子育て世代を取り巻く環境の変化により、孤立化、育児力の低下、育児不安や育児負担感をもつ親が増加している。保健師が地域の方々と、子育て中の親子が気軽に集まれる場である「子育てセミナー・サロン」等を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験する。また、子育て中の親子の交流を推進する。</p> <p>■事業対象：区内の乳幼児とその保護者 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域支援課 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○地域サロン(2か所)の開催。(6回、参加者38人)</p> <p>○育児支援グループ(3か所)の開催。(11回、参加者145人)</p> <p>○1歳6か月児健康診査 40回実施。 来所者数 1,710人(受診率99.9%)</p> <p>○3歳児健康診査 37回実施。 来所者数 1,620人(受診率98.9%)</p> <p>○産後健康診査 7回実施。 来所者数 35人</p> <p>○育児相談 7回実施。 来所相談者数138人</p> <p>【上記事業に保育士及びボランティアを配置。】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施回数や参加人数を縮小するなど、感染防止対策を工夫し実施した。</p> <p>地域サロンや育児支援グループでは、保育士やボランティアと交流することで、参加者が子育てに必要な地域情報を得ることができ、地域とのつながりを持つことができた。また、子育てを楽しみと感じる経験を重ねることで、育児不安や育児負担感の軽減を図ることができた。</p> <p>保育士やボランティアを配置することで、各種健診・相談において子どもの安全の確保と相談の充実が図られた。母子保健事業の目的である乳幼児及び保護者の健康の保持増進に寄与することができた。</p>	<p>予算額：1,811,000円 決算額：1,248,902円</p>

IV 地域福祉・健康のまちづくり事業費

予算額 3,832,000円

決算額 1,613,555円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
4-1 多摩区地域包括ケアシステム推進事業 【地域ケア推進課】	誰もが住み慣れた地域や本人の望む場で安心して暮らし続けることができるよう「地域包括ケアシステム」を推進する取組を実施する。 ■事業対象：区民、区内の福祉関連団体等 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所地域ケア推進課 ■開始時期：平成28年度	○多業種ネットワーク団体等と連携し、広く区民に「在宅療養/在宅介護」をはじめ、「地域包括ケアシステム」の普及啓発を実施（8/5（水）活動報告会実施）。 ○区内を5地区に分け、地域特性に応じた地域づくりを推進。町内会・自治会ヒアリングを7団体で実施。地区の取組紹介広報誌発行（3,000部）。 ○増加する認知症への理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる地域づくりを推進するため、小学校高学年（8校）を対象に認知症サポーター養成講座を開催。認知症啓発用スライドを作成し、中学校（2校）を対象にした認知症講演会で活用した。	予算額：2,603,000円 決算額：967,572円
4-2 健康づくり推進事業 【地域支援課】	多摩区の地域資源を活かした特色ある事業を実施することで、幅広い世代の交流促進と、健康づくりに対する普及啓発を行う。 (1)「多摩区健康フェスタ」の開催 (2)健康づくり普及啓発ポスター「肝臓の健康」の作成・配布 (3)健康づくり活動の場づくり ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域支援課 ■開始時期：平成20年度	○「多摩区健康フェスタ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ○「肝臓の健康」を推進するためのポスターを6,000部作成した。 ○区民主体で健康づくり活動を継続できる場を増やすために、主に活動の立ち上げ支援として物品購入や広報（チラシの作成）を行った。	予算額：440,000円 決算額：230,447円
4-3 パサージュ・たま開催事業 【地域ケア推進課】	障害福祉に関する理解と関心を深めるため、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで「パサージュ・たま」を開催。障害に関する活動をしている団体・作業所等が運営を担当し、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、展示等を行う。 また、広報については、区ホームページやチラシ等により開催日を周知し、広く参加を呼び掛けている。 ■事業対象：区内障害者施設とその利用者及び区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域ケア推進課、パサージュ・たま運営委員会 ■開始時期：平成20年度	○障害に関する活動をしている団体・作業所等が、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、展示等行う「パサージュ・たま」を年4回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7回中止） ○広報誌を400部発行し、「パサージュ・たま」参加団体に配布。（2年ごとに作成） 同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解し合うことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所が普及啓発活動を行える場はごく限られている。「パサージュ・たま」は、区民の多くが利用する区役所総合庁舎のアトリウムを活用し、障害者自身と多くの人々が直接関わり合える場を提供している。 また、定期的実施することで、区民に対する周知も図られ、「パサージュ・たま」を目的に来庁される方もいる。	予算額：132,000円 決算額：120,919円
4-4 精神保健普及啓発事業 【高齢・障害課】	多摩区の精神保健福祉に関わる地域課題の共有を図るとともに、地域住民に疾病予防や疾病の理解を深め、心の健康づくりの意識を高めるため、講演会を開催し、メンタルヘルスに関する普及啓発を進めていく。 また、多摩区の精神保健福祉に携わる関係機関のネットワークの一層の構築にも取り組む。 ■事業対象：区内の精神障害者とその支援者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所高齢・障害課、多摩区精神保健福祉連絡会議 ■開始時期：平成20年度	○精神保健福祉連絡会議全体会議（年4回）や講演部会（年3回）と広報部会（年4回）において講演会を企画し、「新型コロナウイルス感染拡大禍におけるメンタルヘルス～心を元気にする3つのヒント～」と題した講演会を1月31日（日）に多摩市民館大ホールにて開催予定であったが、感染拡大防止のため中止となった。 ○対面開催の代わりに、講演内容を同日録画し、3月下旬に多摩区チャンネルにて動画配信した。開始2か月の時点で視聴回数は200回以上に達した。動画の公開は1年間継続し、より多くの区民に対してコロナ禍でのメンタルヘルスに関する啓発の機会を提供する。 ○広報活動としては、12月にホームページや市政だよりで講演会の開催告知を行い、保健福祉の関係機関や区内各戸にチラシを配布した。	予算額：296,000円 決算額：294,617円

<p>4-5 多摩ふれあいまつり 20 周年記念実施事業</p> <p>【生涯学習支援課】</p>	<p>障害のある人への理解と福祉活動に対する理解を深め、ともに生きる地域社会の実現を目指すため、関係者、支援団体、市民が連携し、「バリアフリーわたしとあなたとこの街と」をテーマに開催している。令和 2 年度に 20 周年を迎えるにあたり、20 周年を祝うとともに障害者福祉への理解向上を目的として、「東京交響楽団」を招き、事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：市民、市内の福祉関連団体 ■事業形態：事業補助 ■実施主体：多摩ふれあいまつり実行委員会 ■開始時期：平成 13 年度 	<p>○新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されたことを受けて、令和 2 年 4 月 9 日に開催された第 7 回実行委員会において、開催中止が決定された。</p>	<p>予算額： 361,000 円 決算額： 0 円</p>
---	--	---	------------------------------------

V 市民自治を進めるまちづくり事業費

予算額 16,268,000円

決算額 14,315,534円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
5-1 多摩区地域人材育成事業 【生涯学習支援課】	平成25年度に策定した「多摩区地域人材育成基本方針」を基に地域人材の育成を進める。平成27年には、新たに市民活動を始めようとする方を対象とした研修、すでに市民活動を行っている方のスキルアップを図る研修、市民と行政職員が一緒になって、協働による理想のまちづくりについて考える研修を行った。平成29年度は、市民活動活性化のための試行事業を実施し、生涯学習推進会議地域人材育成基本方針検討部会でその効果を検証の上、「多摩区地域人材育成基本方針」を見直した。平成30年度、令和元年度、2年度は、新たな「多摩区地域人材育成基本方針」が掲げる4つの視点に基づいた「新たな人材・担い手の発掘と育成」及び「活動団体の活性化と参加の機会創出」となる事業を実施し、持続可能な市民活動の活性化に向けた環境整備に取り組んだ。 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所生涯学習支援課 ■開始時期：平成25年度	○「多摩区地域人材育成基本方針」に基づいた、関係機関、団体等と連携を図り、若い世代が地域への関心を深め、地域の大人と交流を図る地域活性化事業を実施した。 多摩区内のお気に入りの場所のジオラマを作り、参加者全員のジオラマをつなげて電車を走らせることにより、あらためて自分の住む多摩区の魅力を再発見し、参加者同士の心をつなげる「多摩区に鉄道模型が走る！多摩区の魅力を大発見事業」を開催。(単発開催 参加者14人) 上記事業の実施の様子と成果発表としての公開運転会を多摩区YouTubeチャンネルで配信。(視聴回数708回(実施の様子)、2,414回(公開運転会))	予算額：400,000円 決算額：300,622円
5-2 多摩区・3大学連携事業 【企画課】	区にゆかりのある3つの大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)と地域の交流・連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学の研究と連携した取組を実施する。 (1) 多摩区役所と3大学で構成する「多摩区・3大学連携協議会(平成17年12月設立)」の定例開催 (2) 「たまなびプログラム」の実施 (3) 地域課題解決事業(3大学連携事業)の実施 (4) 「多摩区3大学コンサート」の実施 (5) インターシップの実施 (6) 区民祭での地域貢献 (7) 「生田緑地エントランススポット」の維持管理 ■事業対象：専修大学、明治大学、日本女子大学及び区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課、多摩区・3大学連携協議会 ■開始時期：平成18年度	○たまなびプログラムの実施。 ・インスタグラムを活用した「たまなび発信局」の開催(参加者：大学生6人、対象：区民) ・情報誌「たまなびNews」の発行(年1回、区内に新聞折り込みで配布) ○各大学と連携した地域課題解決事業の実施。 ・専修大学「多摩区内の住民組織活動と学生による体験的参加・交流を通じた生活ニーズ発掘・充足のためのプロセス分析事業」 ・明治大学「つくる人と食べる人がつながる「農ある暮らし」の創出事業」 ・日本女子大学「生田でインバウンド～生田緑地の魅力発信」 ○「大学・地域連携事業」実施報告。(区HP) ○多摩区3大学Webコンサートの実施。(11月～令和3年4月) ○インターシップ生の受け入れ。(6人) ○多摩区民祭への出店。(中止) 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種取組の縮小・中止を余儀なくされたが、「多摩区・3大学連携協議会」の運営により、たまなびプログラムを実施したり、情報誌「たまなびNews」を発行することで、大学と地域の連携促進を図った。また、地域の様々な課題の解決を図り、地域の活性化につなげていく取組を大学と連携して実施した。	予算額：5,009,000円 決算額：3,849,285円
5-3 地域コミュニティの活性化促進事業 【地域振興課】	未加入世帯の増加、役員の後継者難といった、各町内会・自治会の抱える課題を的確にとらえ、その解決のための支援策について検討、実施することにより、町内会・自治会活動の振興、地域コミュニティの活性化を図る。多摩区町会連合会と連携しながら、紙媒体の広報だけでなく、インターネット等を活用した区民への情報発信を行う。 (1) ホームページを利用した町内会・自治会活動の情報発信 (2) 町内会・自治会加入促進のための広報物の作成 (3) 町内会・自治会加入促進のための講演会の開催 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度	○地域コミュニティ活性化促進委員会会議の開催。 ○多摩区の町内会・自治会の活動についてホームページで紹介。 ○町内会・自治会の独自の紹介欄を設けたリーフレットを作成して未加入者への案内に活用した。(4地区) ○加入促進に向けたポスターを町内会・自治会の掲示板、区内公共施設、主要駅などに掲出するとともに、転入者向けのチラシの配布を行った。 ○町内会・自治会活動の重要性を区民に伝え、参加意欲を高めるための講演会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止を決定した。	予算額：1,243,000円 決算額：1,823,580円

<p>5-4 磨けば光る多摩事業</p> <p style="text-align: right;">【企画課】</p>	<p>多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・賑わいのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを川崎市の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。(委託料70万円上限×2団体)</p> <p>区民の自主的・主体的な事業を促進することで、生活者目線での身近な地域課題の解決を図るとともに、区民の地域への関心を深め、市民自治による魅力あるまちづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課、区内で活動する市民活動団体 ■開始時期：平成18年度 	<p>以下の2事業が選定され、事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多摩インクルージョンセミナー&ワークショップ～障がい児とご家族の為にスクールフェス～ ○ソーシャルデザインキャンプ@仮想集落トカイナカヴィレッジでSD体験 <p>地域における課題が多様化・複雑化している中で、市民活動団体のノウハウを効果的に活用することができた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部イベントではオンラインを活用し、より多くの区民が参加・観覧できる場を提供できた。</p> <p>提案事業の審査については公開プレゼンテーションを、事業終了後には事業報告会をオンラインで実施した。</p> <p>本事業を市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働の仕組みづくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：1,511,000円 決算額：1,421,790円</p>
<p>5-5 多摩区区民意識アンケート実施事業</p> <p style="text-align: right;">【企画課】</p>	<p>区民に身近な総合行政機関である区役所が、地域の課題解決や地域の魅力を活かした取組を効果的に推進していくため、区民が日ごろ区について感じていることや、区民の地域活動に対する意識、区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査し、結果を分析する。</p> <p>本事業は隔年で実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成23年度 	<p>○調査期間：令和2年10月22日～11月24日</p> <p>○調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収）</p> <p>○調査内容：生活環境の満足度、市政への参加、地域でのボランティア活動など、区役所が推進する主な取組について</p> <p>○調査対象：多摩区在住の18歳以上の男女個人2,000人（外国人を含む）</p> <p>○有効回答数：1,045票（有効回答率52.3%）</p> <p>○報告書60部、報告書（概要版）350部作成</p>	<p>予算額：1,614,000円 決算額：1,539,945円</p>
<p>5-6 市民活動支援事業</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	<p>区民や市民活動団体が自発的、継続的に参加し、第三者や社会の課題解決に貢献する営利を目的としない活動の自立と発展を支援するために、会議室及び印刷機資料づくり等に必要な備品等を備えた「多摩区民活動・交流センター」を多摩区総合庁舎及び生田出張所に設置し、登録した団体及び個人に対し利用開放する。運営にあたっては、利用受付業務等を区民活動・交流センターの利用団体を主体とする運営委員会と協働で行い、団体間の交流と相互支援を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区民活動・交流センター運営委員会 ■開始時期：平成13年度 	<p>市民による自主的かつ自立的な管理運営を実践するため、利用登録団体からなる「多摩区民活動・交流センター運営委員会」で、多摩区民活動・交流センターの円滑な管理運営について協議・検討した。</p> <p>○令和2年度末時点利用登録団体 192団体</p>	<p>予算額：2,035,000円 決算額：2,006,812円</p>
<p>5-7 多摩区コミュニティ施策 区域レベル取組推進事業</p> <p style="text-align: right;">【企画課】</p>	<p>「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を推進するため、地域で活動する団体等からの相談受付や活動支援に向けたコーディネート等を行うソーシャルデザインセンターについて、区民主体で効果的に運営するための支援を行い、市民創発による地域課題の解決に向けた取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：事業補助 ■実施主体：一般社団法人 多摩区ソーシャルデザインセンター ■開始時期：令和2年度 	<p>○多摩区ソーシャルデザインセンター（以下、多摩SDC）の主体的な取組への支援のため補助金の交付や広報の協力等の伴走支援を行った。</p> <p>○多摩SDCの主な取組として、地域で活動している団体等からの相談受付や団体の活動支援事業、課題解決に向けた調査・研究・実践、まちのひろば創出や交流促進に向けてのネットワーク構築、人材育成事業等が実施された。</p>	<p>予算額：4,456,000円 決算額：3,373,500円</p>

VI 地域課題対応事業その他経費 **予算額 1,665,000円** **決算額 1,652,253円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
6-1 共通事務経費 【企画課】	地域課題対応事業費の共通事務経費。	地域課題対応事業で共通に必要な物品(印刷機インク等)を購入した。	予算額：1,665,000円 決算額：1,652,253円

VII 区役所サービス向上事業費 **予算額 585,000円** **決算額 278,163円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
7-1 窓口サービス改善推進事業 【区民課】 【総務課】	平成16年度に区民課においてISO認証取得後、市民の求める質の高い窓口サービスを継続的に維持していく必要があり、そのための窓口環境整備費用としてスタートした。現在では、区役所全体の窓口環境の改善に向け事業を展開しており、区をあげての窓口サービスの向上に資する内容となっている。 ■事業対象：多摩区総合庁舎来庁市民、区役所職員 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所区民課・総務課 ■開始時期：平成22年度	○「区役所サービス向上委員会」を中心とした区役所サービス向上のための取組の推進。 ○区役所職員の意識の向上を図るための接遇研修の実施。(2回) ○窓口発券機システムの維持管理。 「多摩区役所サービス向上委員会」主催で接遇研修を実施し、日常の市民対応にその成果を活かすことができた。 保険年金課で稼働している番号発券機システムの維持管理により、窓口の利便性向上や混雑緩和に貢献することができた。	予算額：585,000円 決算額：278,163円

VIII 区の新たな課題即応事業費 **予算額 5,000,000円** **決算額 3,978,100円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
8-1 区の新たな課題即応事業 【企画課】	区の機能強化の取組の一環として、年度途中に発生した新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：委託、工事等 ■実施主体：区役所内各課 ■開始時期：平成26年度	区の緊急性・必要性の高い課題について、事業実施所管課と密な連携及び調整により対応した。 ○災害時避難所感染症対策対応間仕切り整備事業 ○手指消毒液等感染症対策物品購入事業 ○保険年金課窓口番号発券機整備事業 ○区役所1階窓口カウンター扉整備事業	予算額：5,000,000円 決算額：3,978,100円

I 賑わいと魅力あるまちづくり事業費	予算額	22,531,000円	決算額	17,973,630円
II 安全・安心まちづくり事業費	予算額	6,804,000円	決算額	5,459,560円
III たまっ子を育てるまちづくり事業費	予算額	9,518,000円	決算額	6,286,016円
IV 地域福祉・健康のまちづくり事業費	予算額	3,832,000円	決算額	1,613,555円
V 市民自治を進めるまちづくり事業費	予算額	16,268,000円	決算額	14,315,534円
VI 地域課題対応事業その他経費	予算額	1,665,000円	決算額	1,652,253円
VII 区役所サービス向上事業費	予算額	585,000円	決算額	278,163円
VIII 区の新たな課題即応事業費	予算額	5,000,000円	決算額	3,978,100円
合計	予算額	66,203,000円	決算額	51,556,811円